

自分が商品になるって どういうことですか？

アドナース廣瀬さんに聞いた 「働く」のリアルな話

アドナース取締役
ひろせよしふみ
廣瀬吉史さん



訪問介護・看護を専門に事業を展開するアドナース。大學生4名が廣瀬吉史さんに、仕事やシューカツの、素朴な疑問をぶつけてみた。

「自分が商品になる」おもしろさ

訪問看護・介護を展開するアドナースで取締役を務める廣瀬さん。家族に障害のある人がいるわけでも、福祉に特に関心があるわけでもなかった。「子どもの頃、障害のある友達と遊んでいたのですが、他の友達と変わらず楽しかったんです。高校のときも、障害児のキャンプにボランティアとして関わって、とてもおもしろかった。」

自分の自然な心に任せ、廣瀬さんは福祉の道へ。介護施設でも働いたが、今勤めるアドナースの訪問介護のほうが好きだと話す。高齢者など介護が必要な人の自宅を訪問し、その方らしい生活をサポートする介護だ。

「決まった時間内に大人数の一斉入浴のお世話をする介護施設に比べると、訪問介護はその一人だけの入浴に好きな時間を費やせる。利用者さんも自分も心に余裕ができるのがいいな、と思いました。」

廣瀬さんは訪問介護で「自分が商品になる」と感じたそう。「障害の度合いや要望は利用者さんにより違います。言葉の掛け方もその

人に合わせて変えます。提供するの画面一的なサービスではなく、『どんなサービスが必要か』と考える自分。つまり、自分が商品なのです。」
その人ごとに変えるのは難しい話ではない。たとえば子どもと話すとき、わかりやすい言葉を選ぶのと同じ。そんな配慮を誰もが自然としているはずだ。「日常生活で起こりうる気遣いと同じです」と廣瀬さん。
最初は「これを私がやっていいですか？」と声をかけ、相手が依頼したいことを探る。そして少しずつ距離を縮め、その人が本当に望む生活スタイルを聞き出す。やりとりを重ねるステップもまた、一般的なコミュニケーションと同じなのだ。

廣瀬さんへの質問 01 不慣れた要望へはどう対応する？

学生から「些細なことですが、私は未熟で、自分と違う行動を見ると、イライラすることがあります。多くの人と接する廣瀬さんは、そんな経験はありますか？」という質問があった。

「確かに僕も、それをストレスに感じていたときがありました」と廣瀬さん。しかし、ストレスの原因は自分自身だと気づいた。「自分のモノサシに当てはめ、相手をコントロールしようとするから、ストレスになる」と廣瀬さんは気づいたのだ。
「たとえば自分が思う『当たり前』



中津 彩香
同志社大学 社会学部
メディア学科 3年生

自分が受けるなら、訪問介護がいい。あと、就活の基準が変わる予感があります。

から外れた要望に、以前は「変だ」と感じていました。でも今は「自分の知らない個性ってたくさんあるんだな」と。感じ方が変わりました。

同時に廣瀬さんは「自分はこういうところが好きだな」「これは許せないな」という気持ちを否定せずに見つめ直す。すると、他者に対しても「この人は自分とは違う価値観をもっているんだ」と認められるようになったと話す。

廣瀬さんへの質問 02 お金についてどう考えていますか？

仕事選びの基準が「お金をしっかり



山内 歩果
同志社大学 文学部
国文学科 2年生

自分のモノサシを捨てるというお話は目からウロコ。友人関係でも応用できます。

廣瀬さんは「アドナースの給料は、他の業界と変わらない。3人の子どものいる私にとって給料は大事です。私がお金のためにも働いています。だから

廣瀬さんは話す。

福祉の仕事は給料が安い、というイメージがあるが、決してそうではない。

廣瀬さんは「アドナースの給料は、他の業界と変わらない。3人の子どものいる私にとって給料は大事です。私がお金のためにも働いています。だから



谷口 青空
龍谷大学 先端理工学部
環境生態工学課程 3年生

介護の世界は大変というイメージがりましたが、いい意味で裏切られました。

ら、業務の内容に応じて昇給制度があるって、給料体系が明快なアドナースを選びました」と続ける。

廣瀬さんへの質問 03 スタッフが疲れたときには、どう支えますか？

いつも元気なイメージのアドナースのスタッフだが、体調やメンタルが落ちることもある。スタッフの心身への配慮に、学生から質問が出た。

「アドナースでは、スタッフが自分自身の気持ちや体調を記録するアプリを活用しています。ちょっとした胃の調



若月 祐香
立命館大学 文学部
人文学科 3年生

アプリの導入など、スタッフさんへのサポートが厚いことに驚きました。

「『今、一番しんどいことは何？』と聞いてみると、答えやすくなります。質問の工夫で、スタッフの本音を引き出す努力をしています。」
社員の働きやすさに最大限の配慮をするアドナース。自分を大切にしたい学生に、注目してほしい会社だ。



ADNURSE

株式会社アドナース

京都市西京区大原野西境谷町2丁目14-10
TEL:075-754-6174
https://adnurse.co.jp
従業員数:130名(うち訪問介護スタッフ40名)
設立:2010年5月
主な事業内容:訪問看護・訪問介護・訪問リハビリ・居宅介護支援事業・障害児通所支援事業・音楽療法事業・視線意思伝達装置販売事業・保育園事業



JOB INFORMATION

正社員募集

「おっちゃんとおばちゃん」の求人広告を見ての応募です」とお伝えください。

2023年3月
大学卒業見込

専門学校
卒業生歓迎

第2新卒以上
歓迎

※2023年3月卒業見込みの方の採用につきましては、2022年6月1日以降に選考解禁します。

訪問介護職員募集

【内容】ご利用者様のご自宅に伺い、食事・入浴のお手伝い・着替え・掃除等、普段の生活のサポートをします。また、外出をして買い物や映画を観に行くなど、一緒に余暇を楽しむ事もお仕事です。

【応募資格】初任者研修/実務者研修修了者、介護福祉士、無資格の方もOK!(資格取得支援制度あり) 時短社員もOK!(32時間社員・30時間社員)

【給与】常勤雇用の場合 a+b 247,000円~281,500円

【内訳】a:基本給180,000円~210,000円 b:職能手当:~40,000円、業務手当:10,000円、移動手当:21,000円

その他:精勤手当:10,000円、夜勤手当:5,000円/回、家族手当:配偶者5,000円・子供3,000円(3名まで)

※試用期間6か月あり。その間、基本給・職能給は9割支給。

【勤務地】アドナース洛西・アドナース西京・アドナース西院

【勤務時間】常勤:週40時間シフト制

【休日】年間105日相当

【休暇】年次有給休暇、有給休暇(誕生日の月内、好きな日1日)、慶弔休暇、産前産後休暇、育児休暇、介護休暇、エンドレスサマール休暇(年1回、3連休)

【その他待遇】昇給あり(業績による)、賞与年3回(4月・8月・12月)、社会保険完備

【連絡先】まずは一度電話でお問い合わせください。

TEL:075-754-6174(担当:廣瀬)